

主催：BSN新潟放送



ウォーターシャトルからまちあるきへ。水上と地上から水土を楽しむ。



BSNアナウンサーとめぐる信濃川水土クルージング

BSNアナウンサー、シティガイドと共に、万代島「大かま」メイン会場をはじめ、水上と地上から水土の作品鑑賞を行いました。TVやラジオでおなじみのアナウンサーと一緒に巡るという入口をつくったことで多くの方に文化・芸術に関心を持ってもらえたと思います。このプロジェクトは、信濃川ウォーターシャトルを軸としたイベントで、「水」ウォーターシャトルにて新潟市の暮らしと歴史を学び、「土」下町のまちあるきをシティガイドさんの案内で行い水運の足跡をめぐりました。そして、「大かま」にて作品鑑賞をしました。「知っている町の知らなかった話が聞けてよかったです、新しい発見があり楽しかった」「今回の続編のようなイベントがあれば参加したい」「ガイドさんが付いてのまちあるきはよかったです」など参加された方から感想をいただきました。全2回開催し、第1回は、林莉世アナウンサー、第2回は、田中碧アナウンサー

が同行しました。水と土の芸術祭のコンセプト（私たちはどこから来て、どこへ行くのか～新潟の水と土から、過去と現在（いま）を見つめ、未来を考える～）に基づき、新潟の町と信濃川を見つめなおすイベントになったと思います。今年は、例年に比べ猛暑ということもあり、1回目の反省点を2回目に活かすことができましたが、課題も多く見つかりました。同様のイベントに対する需要がアンケート結果に表れたため、内容を改善したイベント開催を企画検討するだけの意義が見られました。新潟の人々にとって、信濃川とはどのような役割・意味があったのか。水運にかけた祈り、新潟地震の爪痕など、暮らしとの関係性を、水の流れと共に追いかけました。

- 8月5日(日) 信濃川水土クルージング（ウォーターシャトル、下町、大かま）
- 9月30日(日) 信濃川水土クルージング（ウォーターシャトル、下町、大かま）